

平成28年度 入退院支援連携デザイン事業
(沖縄県委託事業：一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会)
実務者(多職種)研修(中部圏域)

沖縄県 高齢者福祉介護課
一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

【目的】

この研修は、市町村の地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを支援するため、医療と介護の連携にかかる人材の育成・資質向上、入退院支援連携デザインの標準化・均てん化をめざし実施する。

【主催】 沖縄県・一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

【対象】 多職種(市町村職員、保健所職員、医師会職員、全医療機関の退院支援部門責任者・医療ソーシャルワーカー・退院調整看護師、介護支援専門員、訪問診療医・訪問看護師、リハビリ職等)

【研修のねらい】

入院前から患者さんが安心して医療を受けられるよう、一人ひとりの状況を身体的、精神的、社会的背景をしっかりと把握し、入院中から退院、退院後も含めた一貫した支援を提供することを目標に、以下の項目について学ぶ。

- 1) 保健医療分野の変化(地域包括ケアシステム・医療機関の機能・診療報酬改訂等)を理解し、地域包括ケアシステムにおける各専門職の役割を理解する。
- 2) 各圏域における入退院支援連携の現状を理解し、切れ目のない医療及び介護の提供体制を構築するための方法を考える。
- 3) 利用者の視点に立った、自立と尊厳を支える質の高い入退院支援連携業務の標準的な実践方法を学ぶ。

【研修の日時・場所】

日時：平成29年 2月 4日(土) 10:30~16:30 (受付10:00~)

場所：嘉手納町中央公民館 大ホール

〒904-0203 沖縄県中頭郡嘉手納町嘉手納290-9 ロータリープラザ 2階

TEL: 098-956-4142

【シンポジウム テーマ】 「地域包括ケアシステムにおける専門職の役割と課題」
～多職種間の相互理解を深め、相談し合える関係づくりをめざして～

【研修方法】

- 1) 講演：講師 学識経験者(県内大学教員)
- 2) シンポジウム：各職能団体推薦者
(市町村、MSW協会、CM協会、看護協会、リハビリ専門職協会)
- 3) ワークショップ：多職種(市町村職員含む)

【研修内容】

日時：平成29年 2月 4日（土）10：30～16：30 （受付10：00～）

場所：嘉手納町中央公民館 大ホール

プログラム： （総合司会）沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 奥平 藤也

10：00～10：30 受付

10：30～12：00 開会挨拶： 沖縄県高齢者福祉介護課 座嘉比 照子

講演①：「患者の<どう生きるか>を支える支援について」

講師： 沖縄大学 富樫 八郎氏

地域包括ケア時代の患者さんやご家族の支援にはスピードが求められます。科学的で意識的な協働支援は、スピードの支援に伴う他職種間に生じるマサツや情報の洩れなどをなくすることができます。この度の研修会では、患者さんの生活自立とQOLの向上といった「社会生活機能」の促進を共通の目標にして、効果的な協働実践のあり方を考える場にしたいと思います。

12：00～13：00 昼食

13：00～13：20 講演②：「在宅医療・介護連携事業に係る制度説明と沖縄県における取組状況について」

講師： 沖縄県高齢者福祉介護課 座嘉比 照子

13：20～13：40 講演③：「入退院支援連携デザイン事業について」

- ・入退院支援連携デザイン事業の概要
- ・「入退院支援連携ガイドライン」(標準的業務の流れと情報共有ツール)

講師： 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口 美智子

13：40～13：50 質疑応答

13：50～15：15 シンポジウム：「地域包括ケアシステムにおける専門職の役割と課題～多職種間の相互理解を深め、相談し合える関係づくりをめざして～」

座長： 富樫 八郎氏（沖縄大学 教授）

講師： 岸本 和子氏（沖縄県立中部病院 看護師長）

秦 克之氏（中頭病院 医療ソーシャルワーカー）

新垣 俊氏（介護支援事業所さんだん花 主任介護支援専門員）

玉城 亮氏（翔南病院 言語聴覚士）

町田 ひなみ氏（訪問看護ステーションのぞみ 訪問看護師）

佐久田 育子氏（うるま市地域包括支援センター 保健師）

15：15～15：30 休憩

15：30～16：15 ワークショップ：

- ・チーフファシリテーター： 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 石郷岡 美穂
- ・テーマ：「わたしの採点票

～地域包括ケアシステムにおける“わたし”の役割を考える～」

16：15～16：30 まとめ： 沖縄大学 富樫 八郎氏

開会挨拶： 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口 美智子